

週刊住宅新聞 2014年1月20日

## タイトル

トーセイ 戸建分譲・流動化を強化 今期仕入れ**500億円**規模に  
官民ファンド 環境に加え耐震案件も

## 記事概要

トーセイは、不動産投資市場の回復を背景に仕入れのアクセルを踏む。官民ファンド活用した耐震・環境不動産形成促進事業の第1号に選定されたことから「実績をアピールして、海外からの投資を呼び込みたい」と話す山口誠一郎社長に、事業展開を聞いた。

—今期の住宅事業は

「マンション分譲は建築費高騰が懸念材料。採算性を考えて慎重に取り組みたい。数年前から強化している戸建も建築費は上昇しているものの、商品力を高めることで販売価格に転嫁できる範囲。商品メニューを拡充し、さらに強化する」

—不動産流動化事業について

「不動産投資市場は回復が鮮明であり、仕入れが課題となる。都心に加え、郊外の駅前立地の収益物件などにも力を入れたい」

—仕入れの現状は

「今期は20億円を越える規模のオフィスも視野に、マンション・戸建用地を200億円仕入れる。中古はバリューアップ販売用だけでなく、自社保有やファンドへの供給も視野に入れ、300億円仕入れる」

—官民ファンドについて

「環境対応は当社の得意分野であり、政府関連ファンドとの共同出資の実績は海外からの投資を呼び込む際の信頼に結びつく。第2、第3の案件も準備を進めている」

—ファンド事業の今後の展開

「新たなファンド組成に向けて種となる物件の取得を進めている。将来的にはリート上場も視野に入れたい」

※当社掲載記事のご紹介は、当社をご紹介いただいた記事の掲載内容を要約したものです。  
情報源となる記事の一切は、トーセイ株式会社が作成したものではありません。

トーセイ株式会社 経営企画部

東京都港区虎ノ門4丁目2番3号 虎ノ門トーセイビル

Tel 03-3435-2864 Fax 03-3435-2866

URL:<http://www.toseicorp.co.jp> Mail:[pr-tosei@toseicorp.co.jp](mailto:pr-tosei@toseicorp.co.jp)